

湖の辺のまち長浜デザイン会議 要点録

と き：R5.10.12（木）19：00～21：00（18：00～19：00 WHILL 試乗会）

ところ：BIWAKO PICNIC BASE

参加者：9名

内 容：

- ◆自己紹介（名前、仕事内容、新しい趣味）
- ◆湖の辺のまち長浜未来ビジョンの確認
- ◆湖の辺のまち長浜デザイン会議の目標とグランドルールの確認
- ◆本日のトークテーマ

1. 長浜モビリティ研究会

前回話題にあった近距離モビリティ導入に向け、WHILL 試乗会を開催。商店街～駅周辺を散策。道中、興味を示された方々にも試乗してもらった。高齢化率が高い長浜には合っているのでは。若者の交通手段としても流行らせたい。若者は数が少ないと乗るのに勇気がいる。など、色々な意見がありつつ、今後「長浜モビリティ研究会」として検討を続ける。

2. 小物釣り同好会

湖北地方と水環境の密接な関り、水に関するアクティビティをライフスタイルに取り入れる若者が多々見受けられることなどから、気軽な釣り体験をとおして地域コミュニティの輪を広げようとする試みが話し合われた。少数でも定期的に開催するのが鍵。次回デザイン会議で実践してみることに。

3. 若い子たちはなぜ来ない？（地元の若者が黒壁スクエアに来ない？）

駅前のサードプレイスを利用する地元の高校生たちに聞いたところ、地元の子は商店街で遊ばないとのこと。理由としては「集まれる拠点がない」、「価格設定が観光客向け」など。

地元の子どもたちの拠り所ができないか話し合った。チロル堂などの参考事例が紹介された。子どもたちと地域の大人たちの関りが持てる仕組みが秀逸。刺激を受けた。

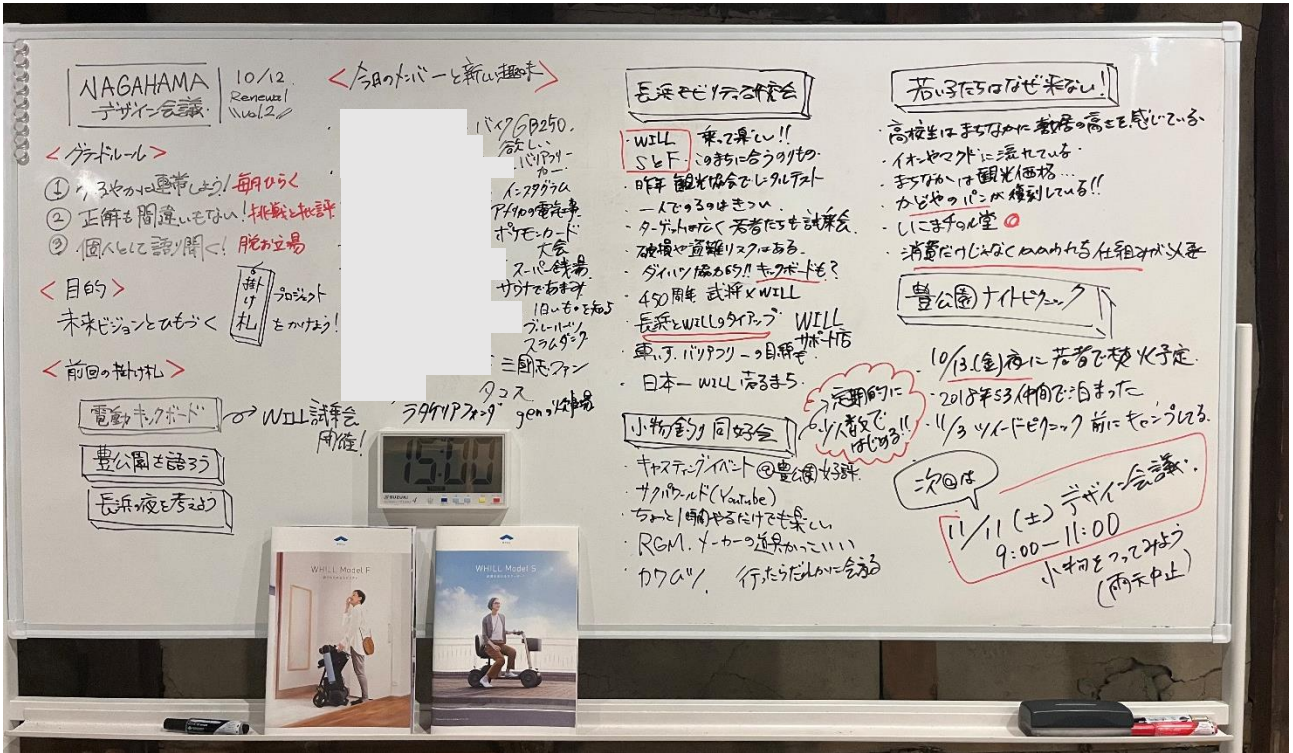
4. 豊公園ナイトピクニック

前回の「豊公園を語ろう」、「長浜の夜を考えよう」から、夜の豊公園を楽しむ機会を検討。早々本日初参加のメンバーから「明日の夜、若者が焚火を囲んで話し合う機会をつくった」と発表があった。こうした取組が生まれてきている現状に驚きと喜びを感じた。豊公園では直火でなければ焚火もできる。実践をとおして色々な楽しい使い方を伝えていきたい。

※次回：11/11（土）9：00-11：00 大三六堀河港にて、小物を釣りながら。

【記録写真】

◆デザイン会議



◆ WHILL 試乗会

